

## 第3節 市民協働で環境保全活動に取り組むまちをつくる

### 分野目標 5 環境にやさしい活動を推進します

持続可能な都市づくりにおいて、環境教育及び広報活動の充実により、市民及び事業者等が環境保全について理解を深め、主体的に環境保全活動に取り組む必要があります。

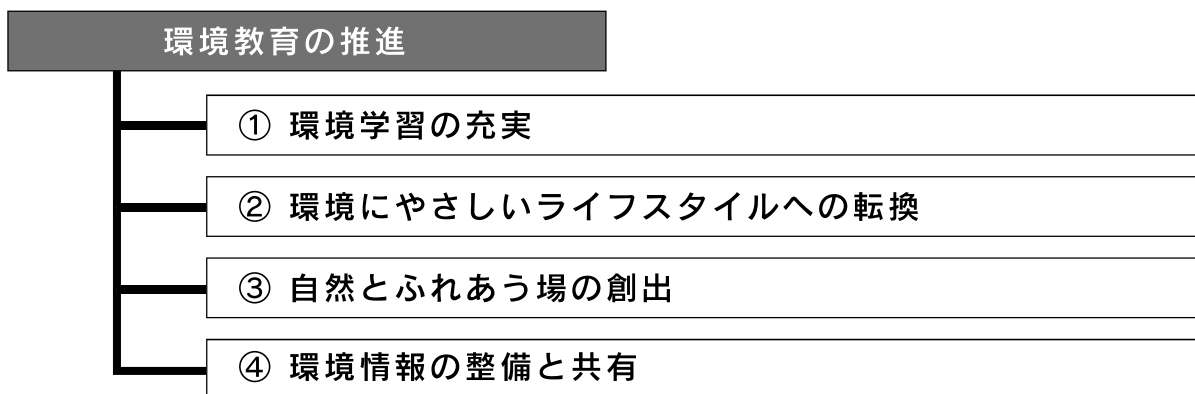
本市は、環境保全に関する情報を集約し、情報の共有化を図るとともに、市民・事業者等との協働で環境保全活動に取り組めます。

#### (1) 環境教育の推進

本市は、子どもから高齢者まで幅広い年代の市民が、それぞれの立場で環境保全について学び、考え、自然環境に親しむ機会を設けることで資源の有限性、地域の将来性など環境と様々な分野とのつながりを認識し、環境を大切にする心の醸成に取り組めます。

また、地球規模の課題である温暖化の問題の解決に向けて、私たち一人ひとりのライフスタイルを見直すことが求められており、その取り組みを推進します。

さらに、環境情報の一元化と利用者ニーズに応じた情報提供・公開、施策の検証や立案に有効な情報の計画的整備、ICTの活用等により情報立脚型の環境行政の実現に取り組めます。



#### ① 環境学習の充実

出前講座の開催や環境教育の人材育成、エネルギーパークの施設見学など、学び、体験する環境を整備し、持続可能な都市を実現するために自ら考え行動できる人材の育成に取り組めます。また、次世代を担う子どもたちへの環境教育の重要性を踏まえ、いしかわ学校版環境ISO 制度を活用した環境学習の支援やユネスコスクールとしての活動を推進します。

## ② 環境にやさしいライフスタイルへの転換

物やエネルギーを大量に消費する社会では、便利で豊かな生活を享受できる半面、環境への負荷が非常に大きくなります。そこで、再エネ機器の導入や省エネ行動の実践、リユース・リサイクルなど物を大切に暮らすに、すだれや打ち水といった昔ながらの知恵を取り入れるなど、市民一人ひとりが環境にやさしいライフスタイルへの転換に取り組むことが重要であり、そのために必要な環境の整備や施策を実施します。

## ③ 自然とふれあう場の創出

子どもから高齢者まで幅広い年代の市民が、本市の森、里、川、海などの豊かな自然に直接親しめる場の提供に努めます。

また、市民だけでなく観光客や留学生なども対象としたグリーンツーリズムやエコツーリズムを実施することで、本市の豊かな自然を体験し、学ぶことにより環境への理解を深め、環境保全活動を行う意欲を増進させる取り組みを行います。



春の自然観察会

## ④ 環境情報の整備と共有

本市は、「かなざわの環境(金沢市環境基本計画年次報告書)」の作成とホームページでの配信を含む資料の提供を継続します。その際、環境と経済社会活動、自然環境に関する情報収集を強化し、体系的整理を行います。また、フェイスブック等のSNSを活用するなど、環境情報に関するコンテンツの拡充に取り組めます。

また、ICTを活用した環境情報の収集及びデータベース化に取り組むなど、ワンストップでの情報入手及び市内外への配信を行い、市民や事業者、市民団体や関係機関等との情報共有を推進することでニーズに応じた情報提供が行える環境を整備します。

## 第3節 市民協働で環境保全活動に取り組むまちをつくる

### 各主体の取り組み・例

#### 市民

- 環境学習に興味・関心を持ち、積極的に自然とふれあう場や環境関連講座等に参加します。
- 地域の環境について学習します。
- 環境について学んだことを家庭や地域で一緒に考えます。
- 打ち水やグリーンカーテンを実施します。
- 金沢市生物多様性市民ウォッチャー制度を活用するなど、自然環境調査を行います。
- 必要とする環境情報の提供を求め、SNS等を活用した情報の共有化に努めます。

#### 事業者

- 従業員への環境学習を定期的実施します。
- 従業員の中から、環境学習を実践する際のリーダーを育成します。
- 環境にやさしい製品を調達します。
- 事業活動による環境への負荷に関する情報について、可能な範囲で開示、共有化を図ります。
- 事業者が実施する環境保全活動を紹介します。

#### 市民団体等

- 環境学習活動を通じた人材育成に取り組めます。
- 環境学習に関する活動や自然とふれあうイベントを開催します。
- 講師の派遣など、地域や学校における環境教育・学習を支援します。
- 環境に関する専門的な知識、情報等を提供します。
- 環境に関する情報の発信、コンテンツの拡充に取り組めます。

#### 市

- 環境に関する出前講座のメニューを拡充し、環境学習の機会を提供します。
- 環境学習のリーダーや市民団体等の中心メンバーの人材育成に取り組めます。
- 環境学習に使用する教材の充実に努めます。
- 環境にやさしい製品を調達します。
- 四季折々でのエコツーリズムを実施し、本市の自然と親しむ機会を提供します。
- 環境に関する情報を収集・整理し、かなざわの環境(金沢市環境基本計画年次報告書)を作成、配布します。

## Column

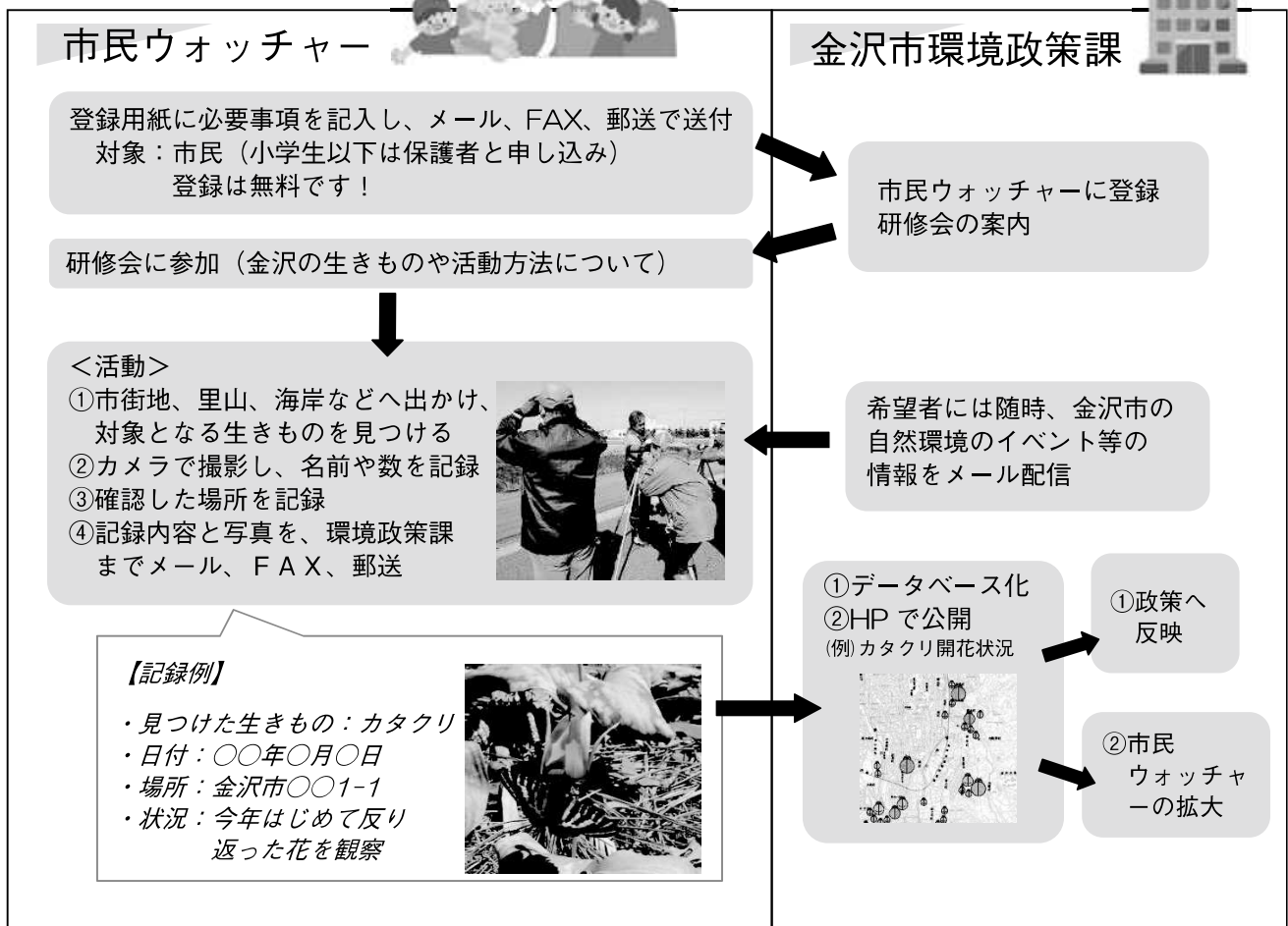
### 金沢市生物多様性市民ウォッチャー

本市は、山地から砂浜まで様々な自然に囲まれ、多様な動植物が分布しています。

そこで、本市では、豊かな自然環境を次世代に継承していくため、市民ウォッチャー制度を導入しています。

この制度は、市民ウォッチャーから自然の中で見つけた生きものを報告してもらい、マップにして記録、PRするとともに、データベース化した情報を利用して希少な生きものを保全し、生態系に悪影響を及ぼす特定外来生物の駆除や監視等の政策につなげていくものです。

#### 活動の流れ



## 第3節 市民協働で環境保全活動に取り組むまちをつくる

### (2) 環境保全活動への支援

市民や事業者等、市民団体、研究機関などが連携を進め、環境保全等に関する独創的で多様な取り組みを進めるための環境保全活動を支援します。

#### 環境保全活動への支援

##### ① 地域団体等による独創的な環境保全活動への支援

### ① 地域団体等による独創的な環境保全活動への支援

本市は、様々な主体の独創的な環境活動内容や情報等を共有して、市民、事業者、市民団体、研究機関が連携を進めることができる環境を整備します。また、市民や事業者、団体や大学等の多様な主体からの効果的で新しい提案について事業化支援を進めるほか、特に優れた取り組みを行った市民・事業所・市民団体を表彰し、活動の継続・拡充を支援します。

### 各主体の取り組み・例

#### 市民

- 独創的な環境保全活動に取り組めます。

#### 事業者・市民団体等

- 独創的な環境保全活動を支援します。

#### 市

- 「協働のまちづくりチャレンジ事業」を実施します。
- 優れた取り組みの表彰や事業化への支援など、活動の継続・拡充を支援します。

## 分野目標 6 多様な主体による協働の環を広げます

環境保全をはじめ、本市で様々に展開される環境関連の取り組みを継続、拡充するために、住民相互の連帯意識に基づく、人と人がつながる地域コミュニティの醸成が重要です。本市は、地域コミュニティの活性化に向けて、市民や事業者等の意識を高めるとともに、連携・協働による取り組みを広げるための仕組みや環境づくりに取り組みます。

また、多様な主体による活動の交流において、環境保全団体相互のネットワークを強化するとともに広域的・国際的な取り組みを推進し、世界の交流拠点都市にふさわしい情報の共有・発信に取り組みます。

### (1) 地域コミュニティの醸成と充実や市民協働の促進による環境保全活動の推進

本市は、地域住民や町会、その他の地域団体並びに事業者等の相互の理解と連携に基づき、協働で様々な環境保全活動を推進します。

#### 地域コミュニティの醸成と充実や市民協働の促進による環境保全活動の推進

- ① 地域コミュニティとの協働の推進
- ② コミュニティ活動等の担い手づくり
- ③ 環境保全活動団体のネットワーク化
- ④ 広域的・国際的な取り組みの推進

#### ① 地域コミュニティとの協働の推進

本市は、地域で活動している様々な主体が活動の内容や情報等を共有し、地域とNPOや大学等の活動主体をつなげるなど、環境保全活動を円滑に推進するための場や仕組み等を提供します。

特に、ごみステーション管理サポーターの導入や金沢学生ごみ問題検討会議の運営、地域の希少生物保全や美化活動、自然観察会など、地域を知る機会や協働による活動への展開、さらには地域コミュニティ活性化基金を生かした取り組みを進めます。



金沢学生ごみ問題検討会議

## 第3節 市民協働で環境保全活動に取り組むまちをつくる

### ② コミュニティ活動等の担い手づくり

本市は、地域の環境活動等において、学生とも連携したコミュニティ活動を推進する中心の役割を担う人材の育成・支援を進めるとともに、幅広い年代の市民が参加できる仕組みづくりに努めます。

これらを通じ、ネットワークを広げ、活動の持続性や専門性、多様な人材の参加機会拡大等につなげられる人材の育成にも取り組みます。

### ③ 環境保全活動団体のネットワーク化

本市は、市民や事業者等にNPOや大学など、多様な主体による環境団体等のネットワークを図り、様々な活動に関する情報を一元化してネットワーク内外に発信することによって、活動団体、研究機関、環境保全活動に参加を希望する市民を結びつけ、それぞれが連携して環境保全活動を行える体制を整えます。

### ④ 広域的・国際的な取り組みの推進

本市は、石川中央都市圏(金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町)の4市2町の連携による「石川中央都市圏ビジョン」を踏まえ、圏域のネットワーク強化により活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する際に、地下水保全や地盤沈下対策、河北潟の生活排水対策、合同イベント等の開催、広域公共交通網の構築や災害対策など、様々に連携を図っていきます。

また、本市は、国内外の行政機関等をはじめ、高等教育機関、関連団体等と環境情報の共有化を図り、施策の推進等に生かすとともに、国連大学と共同した国際会議やシンポジウム等の開催を通じて、より親密かつ有効な連携の強化に取り組みます。

さらに、本市が加盟する「生物多様性自治体ネットワーク」は、全国155自治体(平成29年9月現在)が相互に生物多様性の保全や持続可能な利用に関する取り組み・成果について情報発信を行うとともに、「国連生物多様性の10年日本委員会」の構成員として他のセクターとの連携・協働を図り、もって2010年の第10回生物多様性条約締約国会議(COP10)で採択された愛知目標の実現に取り組む組織であり、広域的・国際的な取り組みを行っていきます。

## 各主体の取り組み・例

### 市民

- 地域住民が相互に連携し、ごみステーションを管理します。
- 地域の自然や歴史を学び、地域や大学、行政等と連携しながら保全・伝承します。
- 国際会議やシンポジウムに積極的に参加します。
- 世界の環境について学びます。
- 環境NGOの活動を支援し、協力します。

### 事業者

- 地域コミュニティの環境活動への参加と支援に取り組みます。
- 環境に関する事業者ネットワークへ参加し、相互に交流した取り組みを実施します。
- 市民やNPO等と協力し、清掃活動や森づくりなどを行います。

### 市民団体等

- 地域コミュニティの環境活動の支援に取り組みます。
- 活動に参加するメンバーの拡大を通じて、環境活動の担い手づくりを行います。
- 環境保全活動の中心を担うリーダーや後継者を育成します。
- 環境保全団体のネットワーク構築に参加します。
- 環境NGO等や他の市民団体と連携、協力するなど、広域的・国際的な環境保全活動に取り組みます。

### 市

- 環境保全活動を推進する場を提供します。
- 市民や事業者、市民団体等が策定した環境保全に関する行動計画を認定、支援します。
- 環境保全活動の中心を担うリーダーや後継者を育成します。
- 学生の地域活動等への参加を促進します。
- 環境保全団体や研究機関のネットワーク化に取り組みます。
- 環境保全団体の活動情報を一元化し、発信します。
- 石川中央都市圏をはじめ、生物多様性自治体ネットワーク等の国内外の行政機関、関係機関、団体等と環境情報の共有化を図り、広域的な取り組みの推進等に生かします。
- 国連大学と共同し国際会議やシンポジウムの開催により、本市の魅力を発信します。



## 第3節 市民協働で環境保全活動に取り組むまちをつくる

### Column

#### 国連大学との連携

本市は、国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット(UNU-IAS OUIK)と連携し、金沢を事例として、地域レベルの視点から、生物文化多様性保全に関する研究活動を行い、その成果を国際社会に発信しています。

UNU-IAS OUIKとは、国際連合のシンクタンクとして、地球規模の課題解決のための研究・人材育成・知識の普及活動を行う国連大学に属する研究機関です。そのフィールドオフィスとして、アジアで初めて発足した同研究所のオペレーティング・ユニットとして、いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットが本市に設立(平成20年)され、環境や持続可能な開発などのグローバルな問題に対し地域の様々な主体と連携して、ローカルな視点から解決策を探り、政策立案につなげていくための研究活動を行っています。

#### 出版物の制作

「金沢版生物多様性戦略」の英語概要版をはじめ、「金沢ホタルマップ 30年のあゆみ」などを共同で作成し、国際社会への情報発信を行っています。



#### 生物多様性関連イベント等の開催

平成27年には、UNU-IAS OUIKが主催する国際シンポジウムとして「石川—金沢 生物文化多様性圏 豊かな自然と文化創造をつなぐいしかわ金沢モデル」と題し、パネルディスカッションや基調講演など、ユネスコや生物多様性条約事務局の関係者が出席する中で開催されました。

また、平成29年には、国際生物多様性の日を記念して「市民が守る地域の生物多様性」を開催し、市民目線での生物多様性の保全やモニタリングへの参加のあり方を議論しました。



本節の主要施策に関連する数値目標

目標	現況値		目標値	
環境出前講座受講者数	H28 (2016)	6,943 人	H39 (2027)	10,000 人
ホタル生息調査参加人数	H28 (2016)	6,475 人	H39 (2027)	10,000 人
生物多様性ネットワーク 参加団体人数	H28 (2016)	32 団体	H39 (2027)	40 団体